事　業　概　要

令和７年度

［令和６年度実績］

高崎市食肉衛生検査所

目　　次

第１章　食肉衛生検査所の概要

１　高崎市食肉衛生検査所の概要 1
（１）名称等 1
（２）所管すると畜場及び食鳥処理場 1
（３）沿革 2

２　組織及び分掌 2
（１）組織図 2
（２）職種別職員数 2
（３）事務分掌 3
（４）食肉衛生検査所詳細 4
（５）主な備品一覧 5

３　検査手数料 7
（１）と畜検査 7
（２）食鳥検査 7

第２章　検査業務の概要

１　食肉検査業務の流れ 8

２　と畜検査 9
（１）開場日数及びと畜検査頭数 9
（２）月別と畜検査頭数 9
（３）と畜検査に基づく廃棄処分頭数 10

３　食鳥検査 11
（１）大規模食鳥処理場の開場日数及び処理羽数 11
（２）食鳥検査結果に基づく廃棄処分羽数（大規模食鳥処理場） 12

第３章　精密検査業務

１　精密検査 13
（１）と畜検査における精密検査実施状況 13
（２）食鳥検査における精密検査実施状況 13

２　ＢＳＥ（牛海綿状脳症）スクリーニング検査 14

第４章　食肉衛生確保対策

１　と畜場・食鳥処理場の衛生指導 15
（１）立入検査 15
（２）外部検証 15
①　記録検査 15
②　現場検査 15
③　微生物試験 15

２　啓発事業 15

第５章　調査研究・研修会

１　調査研究発表状況 16

２　研修等 16

第１章　食肉衛生検査所の概要

令和７年度（令和６年度実績）高崎市食肉衛生検査所事業概要

１　高崎市食肉衛生検査所の概要

（１）名称等

名　　称　　高崎市保健医療部　食肉衛生検査所
所　在　地　　群馬県高崎市高松町５番地 28　高崎市総合保健センター4F
設置年月日　　平成 23 年 4 月 1 日
所管区域　　本市全域

（２）所管すると畜場及び食鳥処理場

と畜場　　1 か所
大規模食鳥処理場　2 か所

施設名	開設年	許可頭羽数			所在地
高崎食肉センター	1981	大動物　50頭/日	小動物　1,000頭/日	換算頭数　1,200頭/日	高崎市中里見町1729
株式会社朝びき若鶏	2015	鶏　13,300羽/日			高崎市神戸町359-1
株式会社ヤマショウフーズ群馬工場	2005	鶏　18,000羽/日			高崎市中泉町796-1

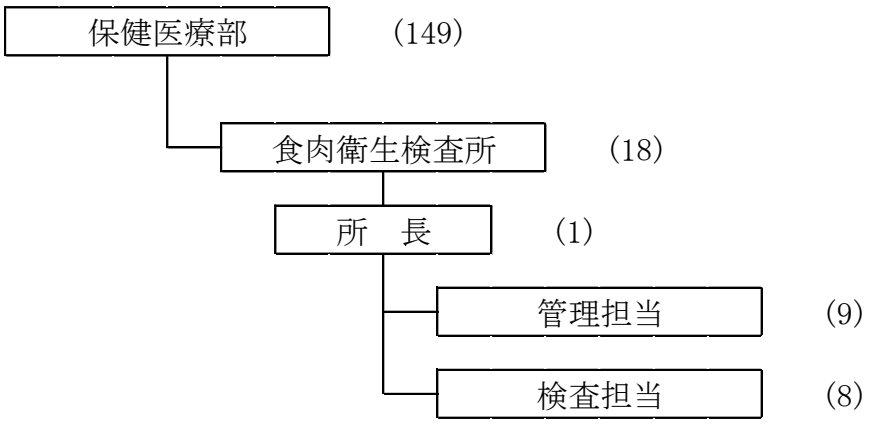
（３）沿革

平成 20 年 4 月	中核市移行に伴う保健所設置のため、保健所準備室を設置。
平成 21 年 4 月	獣医師職員を 2 名採用。同 2 名は中核市移行の準備のため、群馬県食肉衛生検査所へ派遣。
平成 22 年 4 月	獣医師職員を 6 名採用。前年度からの 2 名に加え、群馬県食肉衛生検査所へ派遣。
平成 23 年 4 月	中核市移行に伴い、高崎市総合保健センター4 階に食肉衛生検査所を設置。 獣医師職員を 6 名採用。職員 1 名は前年度に引き続き 1 年間群馬県食肉衛生検査所へ派遣。

2　組織及び分掌

（１）組織図

令和７年４月１日現在



（２）職種別職員数

令和７年４月１日現在

担　当		事務職		獣医師					合計
		所長	所長補佐 兼 係長	所長補佐 兼 係長	係長	主査	主任獣医師	獣医師	
所長		1							1
管理担当	総務		1			4			9
	監視				1	2	1		
検査担当	と畜検査			1		1	1	1	8
	食鳥検査					1	1	2	
合計		1	1	1	1	8	3	3	18

※　職員数に再任用、嘱託、臨時職員は除く。

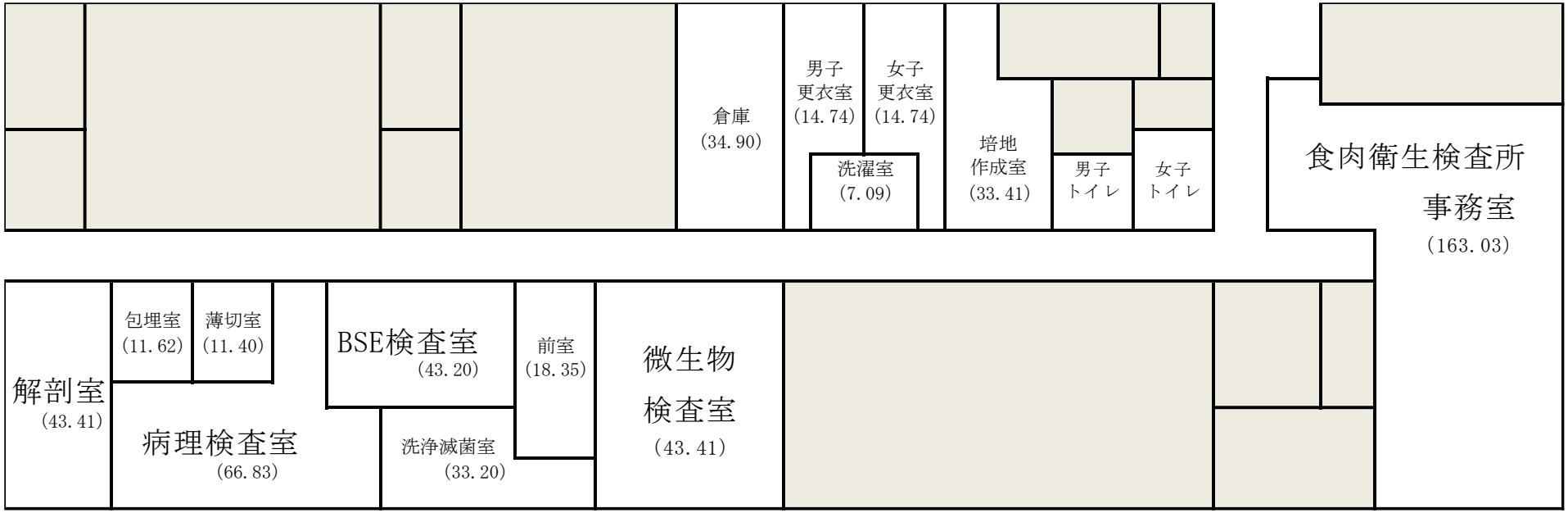
（３）事務分掌

担　当　名	主　な　分　掌
管　理　担　当 （総　務）	・予算・決算及び庶務に関すること ・と畜検査・食鳥検査及び精密検査に関する業務の企画及び調整に関すること ・精密検査に関すること ・ＴＳＥ（ＢＳＥ）スクリーニング検査全般に関すること
管　理　担　当 （監　視）	・と畜場及び食鳥処理場のＨＡＣＣＰに基づく衛生指導に関すること
検　査　担　当 （と 畜 検 査）	・と畜場での検査に関すること ・と畜場の許認可等に関すること ・と畜場の運営管理及び衛生指導に関すること ・食肉の輸出に関すること
検　査　担　当 （食 鳥 検 査）	・食鳥処理場での検査に関すること ・食鳥処理場の許認可等に関すること ・食鳥処理場の運営管理及び衛生指導に関すること ・食鳥肉の輸出に関すること

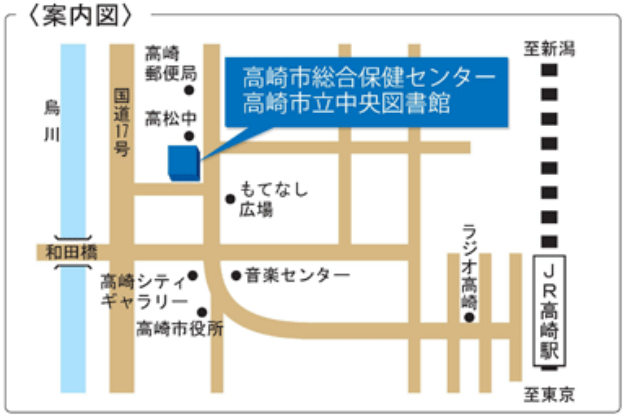
（４）食肉衛生検査所詳細

ア　平面図・案内図

高崎市総合保健センター4Ｆ



（　）内は面積を㎡で示す



（５）主な備品一覧

設置場所		品名	数量
微生物関係	微生物検査室	安全キャビネット	1
		インキュベーター	3
		超低温フリーザー	4
		薬用保冷庫	1
		薬品保管庫	1
		高速冷却遠心機	1
		フリーザ付薬用保冷庫	2
		微生物検査用顕微鏡（位相差顕微鏡）	1
		ユニット恒温槽（EC用）	1
		パドル式食品ホモジナイザー	1
		PETデシケーター	1
		卓上振盪恒温槽	1
		生化学自動分析装置	1
		マルチチャンネルピペット	1
		ホットスターラー	1
		アルミブロック恒温槽	1
		電子上皿天秤　（秤量52g）	1
		電子上皿天秤（秤量2200g程度）	1
		培地分注器	1
		ラックトップ pH計	1
	培地作成室	PT3100D型用ジェネレーターシャフト	1
		PETデシケーター	1
	BSE検査室	安全キャビネット	1
		卓上クリーンベンチ	1
		微量高速遠心機	1
		インキュベーター	1
		アルミブロック恒温槽	5
		多検体細胞破砕機	2
		吸光マイクロプレートリーダー	1
		吸引マニーホールドシステム	1
		リアルタイムPCR(PC付)	1
		サーマルサイクラー	1
		電気泳動装置	3
		ゲル撮影装置一式（カメラ、プリンター含む）	1
		マイクロプレート用小型低速遠心機	1
		マルチチャンネルピペット	4
		遠心分離器	2
		フリーザ付薬用保冷庫	2
		フリーザ付薬品保冷庫　麻薬金庫付	1
		恒温水槽	1
		Qubit 3.0 Fluorometer	1
		高圧蒸気滅菌器　TC-330E	1

設置場所		品名	数量
病理関係	病理検査室	病理検査用顕微鏡	1
		病理検査用顕微鏡（デジタルカメラ・PC付）	1
		自動染色装置	1
		凍結切片作成装置及び超低温冷凍装置	1
		ﾌﾘｰｻﾞ付薬用保冷庫	1
		インキュベーター	1
		スターラー付恒温槽	1
		超音波洗浄機(バスケット付)	1
		スライドウォッシャー	1
		卓上振盪恒温槽	1
		電子上皿天秤（秤量52g）	1
		電子上皿天秤（秤量220g程度）	1
		冷蔵庫	2
	薄切室	スマートウォーターバス	1
		滑走式ミクロトーム	1
		パラフィンストレッチプレート	1
		パラフィン伸展器	1
		湯浴式パラフィン伸展器	1
	包埋室	パラフィン包埋ﾌﾞﾛｯｸ作製装置	1
		自動固定包埋装置	1
		パラフィン溶融器	1
		空気清浄機	1
	解剖室	解剖台	1
		切り出し台	1
		臓器標本保管用真空包装機	1
		臓器撮影用カメラスタンド	1
		プッシュプル式ホルムアルデヒド除去装置	1
		組織固定用振盪器	1
		デジタル一眼レフカメラ	1
		移動型診療用照明（スタンド式無影灯）	1
		ズーム式実体顕微鏡	1
		低温フリーザー	2
	標本室	室内循環式ホルムアルデヒド除去装置	1
検査共通	洗浄滅菌室2	超音波ピペット洗浄機	1
		超音波洗浄機	1
		乾熱乾燥器	2
		オートクレーブ	2
		純水製造装置	1
	前室2	全自動製氷機	1
		白衣紫外線殺菌灯付きロッカー	1
		フリーザ付薬用保冷庫	1
	廃棄物保管庫	超低温フリーザー	1
その他		微生物検査用顕微鏡(現場用)	1

３　検査手数料

高崎市保健所関係使用料及び手数料条例（第２条別表第２抜粋）

令和７年４月１日現在

（１）と畜検査

（１頭につき）

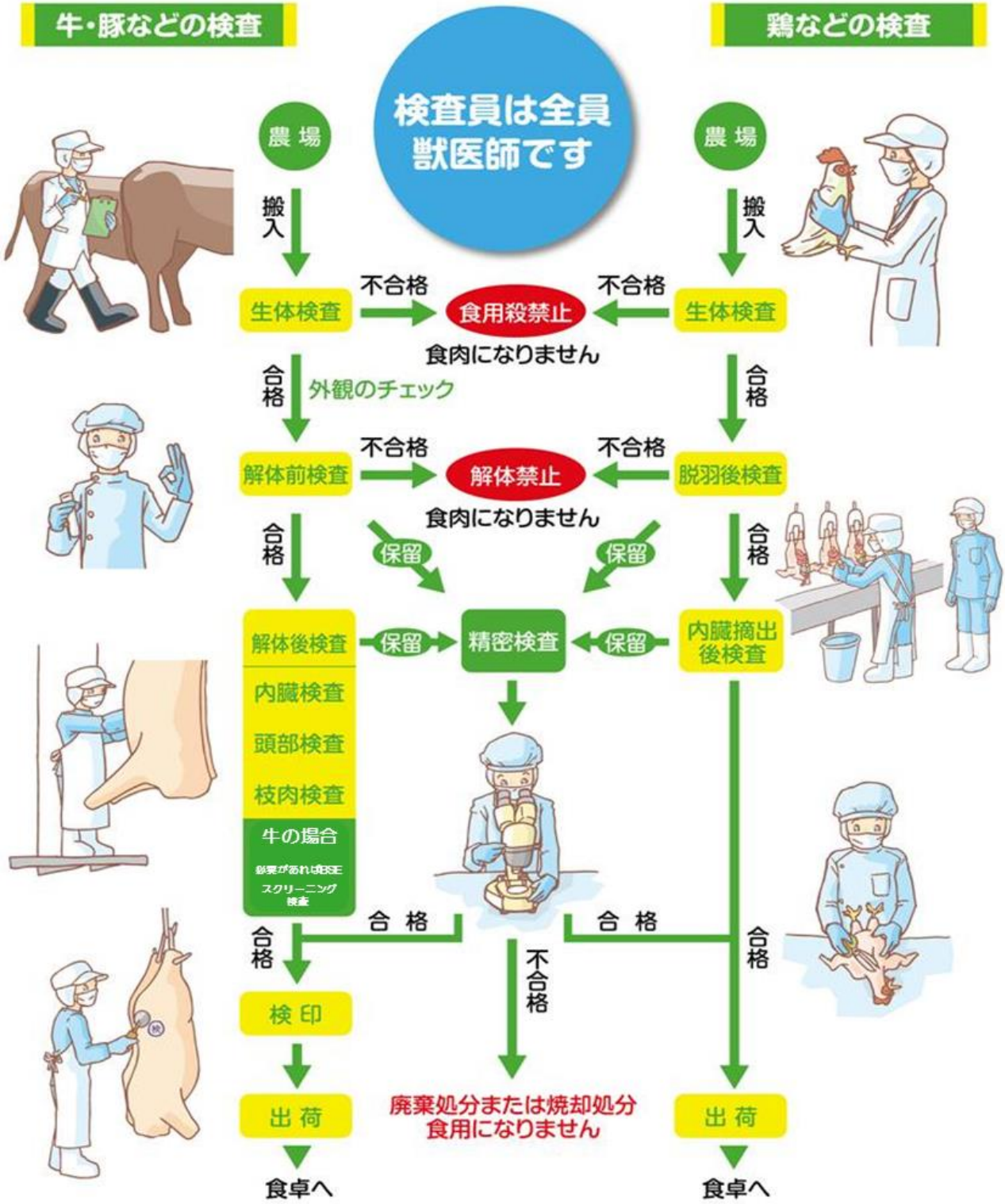
区分	時間内	時間外
牛（生後１年以上）	700円	1,200円
牛（生後１年未満）	300円	720円
馬	700円	1,200円
豚	300円	720円
めん羊	100円	150円
山羊	100円	150円

（２）食鳥検査

食鳥検査	1羽につき5円

第２章　検査業務の概要

１　食肉検査業務の流れ


牛・豚などの検査
鶏などの検査
検査員は全員
獣医師です
農場
搬入
生体検査
不合格
食用殺禁止
食肉になりません
合格
外観のチェック
解体前検査
解体禁止
脱羽後検査
保留
解体後検査
内臓検査
頭部検査
枝肉検査
牛の場合
精密検査
内臓摘出
後検査
検印
出荷
廃棄処分または焼却処分
食用になりません
食卓へ

２　と畜検査

市内にと畜場は１か所（高崎食肉センター）あり、６名の検査員を派遣し、と畜検査を実施している。

（１）開場日数及びと畜検査頭数

年間開場日数２４４日

項目 / と畜場名	牛	子牛	馬	豚	めん羊	山羊	合計
高崎食肉センター（事故畜）	2,933 (0)	0 (0)	0	161,796 (0)	0	0	164,729 (0)

※（　）内は事故畜数で内数

（２）月別と畜検査頭数

	牛 合計(事故畜)	前年度比 (%)	子牛	豚 合計(事故畜)	前年度比 (%)	開場日数
4月	260 (0)	98.9	0	14,347 (0)	108.3	22
5月	236 (0)	106.8	0	13,234 (0)	100.5	20
6月	245 (0)	127.6	0	11,448 (0)	88.9	19
7月	297 (0)	118.3	0	12,369 (0)	106.2	20
8月	179 (0)	94.2	0	12,789 (0)	92.0	20
9月	253 (0)	124.0	0	13,365 (0)	100.8	20
10月	260 (0)	116.6	0	16,543 (0)	109.1	22
11月	257 (0)	101.6	0	14,663 (0)	89.1	21
12月	276 (0)	96.8	0	14,881 (0)	96.2	21
1月	248 (0)	114.3	0	14,126 (0)	95.6	20
2月	210 (0)	102.4	0	11,247 (0)	77.7	19
3月	212 (0)	110.4	0	12,784 (0)	88.2	20
計	2,933 (0)	108.8	0	161,796 (0)	95.8	244

※（　）内は事故畜数で内数

（３）と畜検査に基づく廃棄処分頭数

畜種	検査頭数	項目	実頭数	細菌病								ウイルス病		原虫病		寄生虫病			その他の疾病										計
				炭疽	豚丹毒	サルモネラ症	結核	ブルセラ症	破傷風	放線菌病	その他	豚熱	その他	トキソプラズマ症	その他	のう虫病	ジストマ病	その他	膿毒症	敗血症	尿毒症	黄疸	水腫	腫瘍	中毒諸症	炎症又は炎症産物による汚染	変性又は萎縮	その他	
牛	2,933	禁止	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		全部廃棄	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2
		一部廃棄	1,038	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	25	0	0	618	27	561	1,231
子牛	0	禁止	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		全部廃棄	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		一部廃棄	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
馬	0	禁止	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		全部廃棄	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		一部廃棄	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
豚	161,796	禁止	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		全部廃棄	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	2
		一部廃棄	71,405	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	70	4	0	66,407	1,151	11,864	79,496
めん羊	0	禁止	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		全部廃棄	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		一部廃棄	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
山羊	0	禁止	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		全部廃棄	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		一部廃棄	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	164,729	禁止	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		全部廃棄	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	4
		一部廃棄	72,443	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	95	4	0	67,025	1,178	12,425	80,727

３　食鳥検査

市内に年間処理羽数が 30 万羽を超える大規模食鳥処理場は２か所あり、株式会社朝びき若鶏に２名、株式会社ヤマショウフーズ群馬工場に２名の検査員を派遣し、食鳥検査を実施している。

（１）大規模食鳥処理場の開場日数及び処理羽数

項目 / 食鳥処理場名	鶏		あひる	七面鳥	合計	前年度比（%）	開場日数
	ブロイラー	成鶏					
株式会社 朝びき若鶏	4,567,656	0	0	0	4,567,656	102.5	259
株式会社ヤマショウフーズ群馬工場	20,917	3,312,856	0	0	3,333,773	89.4	239
合　　計	4,588,573	3,312,856	0	0	7,901,429	96.5	498

（２）食鳥検査結果に基づく廃棄処分羽数（大規模食鳥処理場）

			ブロイラー			成鶏		
検査羽数			4,588,573			3,312,856		
7,901,429			禁止	全部廃棄	一部廃棄	禁止	全部廃棄	一部廃棄
処分実羽数			0	19,541	87,884	0	27,696	32,121
疾病別羽数	ウイルス・クラミジア病	鶏痘	0	0	0	0	20	0
		鶏伝染性気管支炎	0	0	0	0	0	0
		鶏伝染性喉頭気管炎	0	0	0	0	0	0
		ニューカッスル病	0	0	0	0	0	0
		鶏白血病	0	0	0	0	0	0
		封入体肝炎	0	0	0	0	0	0
		マレック病	0	0	0	0	2	0
		その他	0	0	0	0	0	0
	細菌病	大腸菌症	0	1,574	0	0	1	0
		伝染性コリーザ	0	0	0	0	0	0
		サルモネラ症	0	0	0	0	0	0
		ブドウ球菌症	0	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0	0
	その他の疾病	毒血症	0	0	0	0	0	0
		膿毒症	0	0	0	0	0	0
		敗血症	0	0	0	0	0	0
		真菌症	0	0	0	0	0	0
		原虫病（トキソプラズマ症を除く）	0	0	0	0	0	0
		寄生虫病	0	0	0	0	0	0
		変性	0	471	2,137	0	430	0
		尿酸塩沈着症	0	0	0	0	0	0
		水腫	0	2	0	0	1	0
		腹水症	0	8,639	0	0	954	0
		出血	0	28	410	0	4	0
		炎症	0	1,744	81,466	0	3,940	25,918
		萎縮	0	0	0	0	0	0
		腫瘍	0	0	10	0	489	6,198
		臓器の異常な形等	0	0	445	0	0	0
		異常体温	0	0	0	0	0	0
		黄疸	0	1	0	0	5	0
		外傷	0	401	0	0	53	0
		中毒諸症	0	0	0	0	0	0
		削痩及び発育不良	0	5,590	0	0	872	0
		放血不良	0	74	0	0	14,187	0
		湯漬過度	0	0	0	0	342	0
		その他	0	1,017	3,416	0	6,396	5
計			0	19,541	87,884	0	27,696	32,121

第３章　精密検査業務

１　精密検査

（１）と畜検査における精密検査実施状況

疾病別精密検査実施数(牛海綿状脳症をのぞく)　（単位：頭）（頭数は延べ数）

検査対象病名		牛		豚		合計	
		保留数	全部廃棄数	保留数	全部廃棄数	保留数	全部廃棄数
微生物検査	豚丹毒（心内膜炎型）	0	0	48	0	48	0
	豚丹毒（皮膚型）	0	0	0	0	0	0
	豚丹毒（関節炎型）	0	0	0	0	0	0
	サルモネラ症	0	0	1	0	1	0
	敗血症	1	0	48	0	49	0
	膿毒症	0	0	0	0	0	0
理化学検査	尿毒症	0	0	0	0	0	0
	高度の黄疸	1	1	3	2	4	3
病理検査	高度の水腫	0	0	0	0	0	0
	全身性の変性	0	0	5	0	5	0
	全身に及ぶ炎性産物等による汚染	0	0	0	0	0	0
	白血病 (牛伝染性リンパ腫含む)	1	1	0	0	1	1
	非定型抗酸菌症（ミコバクテリウム症）	0	0	0	0	0	0
	メラノーマ	1	0	1	0	2	0
	その他の多発性の腫瘍	0	0	0	0	0	0
合計		4	2	106	2	110	4

（２）食鳥検査における精密検査実施状況

疾病別精密検査実施数　（単位：羽）

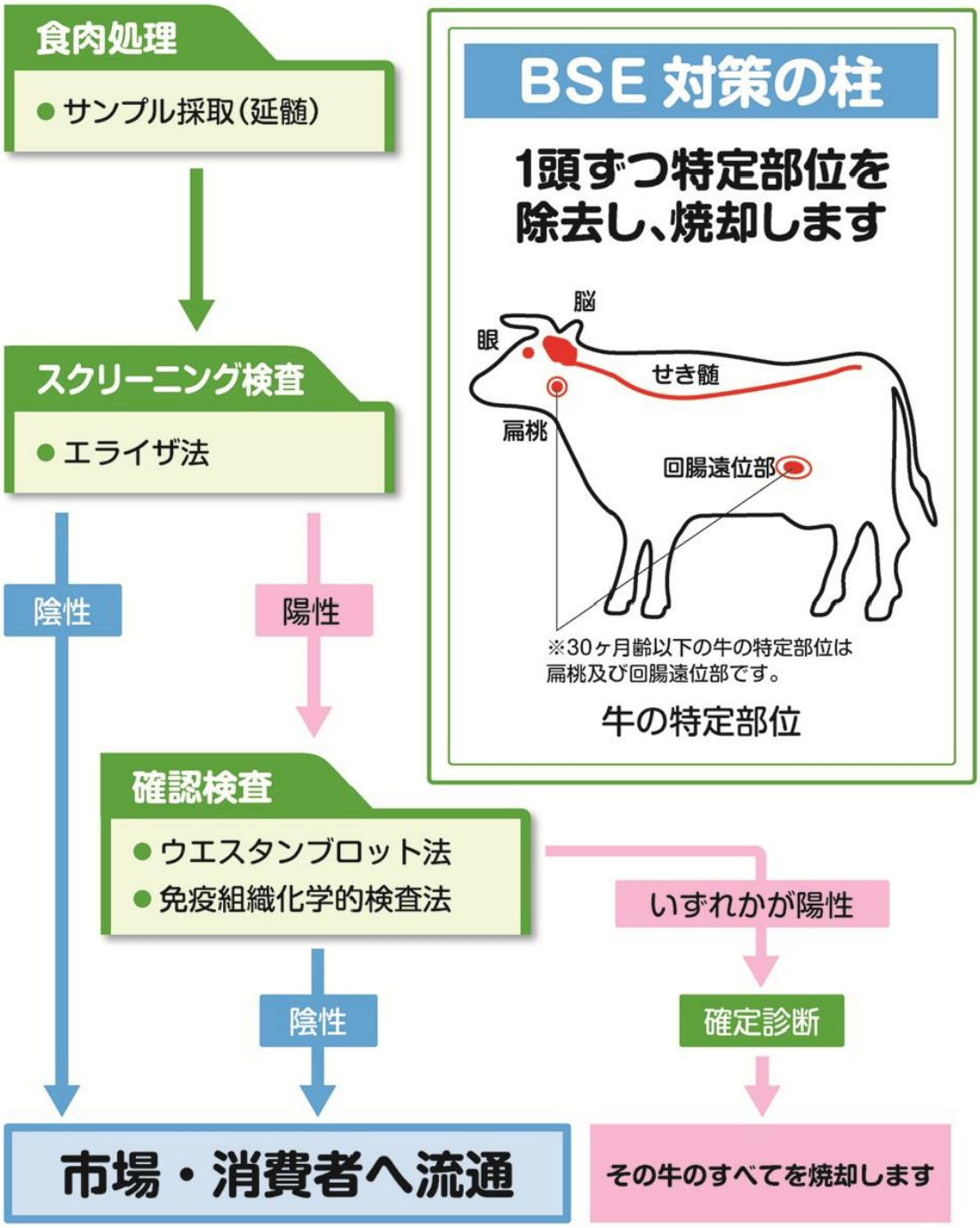
検査対象病名		ブロイラー	成鶏
微生物検査	大腸菌症	0	0
病理検査	鶏白血病	0	0
	マレック病	0	2
	鶏痘	0	2
その他の疾病		0	0
合計		0	4

２　ＢＳＥ（牛海綿状脳症）スクリーニング検査

令和６年度において、市内のと畜場で処理した牛は全て検査対象外だったため、検査は実施していない。

なお、生体検査において行動異常又は神経症状を呈する牛について、検査を実施する。

ＢＳＥ検査の流れ



第４章　食肉衛生確保対策

１　と畜場・食鳥処理場の衛生指導

（１）立入検査

法に基づく施設の構造設備の維持管理状況や、食肉及び食鳥肉の衛生管理の実施状況を重点的に確認するため、処理業者に対して立入検査を実施し、文書にて改善を指導した。

［高崎食肉センター（１１月）、株式会社朝びき若鶏（１１月）、株式会社ヤマショウフーズ群馬工場（１１月）］

（２）外部検証

厚生労働省大臣官房生活衛生･食品安全審議官通知令和２年５月２８日付け生食発 0528 第１号「と畜検査員及び食鳥検査員による外部検証の実施について」に基づき外部検証（記録検査、現場検査、微生物試験）を実施した。

① 記録検査

処理業者が作成した衛生管理の実施記録の内容を確認し指導した。

実施頻度：原則毎開場日及び月一回の重点的検査

② 現場検査

処理業者が作成した手順書に基づく処理場の衛生管理及び衛生的な処理の実施状況を確認し指導した。

実施頻度：原則毎開場日

③ 微生物試験

衛生管理の実施状況を客観的に評価するため、切除法による検査を実施し、その結果を当該と畜場及び食鳥処理場へ還元した。

施 設 名	検査対象	頭羽数	検査部位	検体数[1)]
高崎食肉センター	豚枝肉	20	頸部	20
	牛枝肉	20	頸部	20
株式会社 朝びき若鶏	食鳥中抜きとたい（ブロイラー）	100	胸皮	20
株式会社 ヤマショウフーズ群馬工場	食鳥中抜きとたい（成　鶏）	100	首皮	20

※牛、豚は一般生菌数と腸内細菌科菌群数の 2 項目を検査

食鳥はカンピロバクター属菌を加えた 3 項目を検査

1)：食鳥中抜きとたいについては、5 羽をまとめて 1 検体としている

２　啓発事業

食肉衛生検査所の業務について、リーフレットの配布や、ホームページにおける情報発信を通じて啓発活動を行った。

第５章　調査研究・研修会

令和７年度（令和６年度実績）高崎市食肉衛生検査所事業概要

１　調査研究発表状況

令和６年度は、調査研究発表は行っていない。

２　研修等

研修会等の名称	場所	派遣人数	期間		
令和６年度　関東甲信越ブロック食肉衛生検査所協議会総会及び所長等会議	大宮ソニックシティ(埼玉県さいたま市大宮区)	1名	2024年5月17日		
令和６年度　西部地域特定家畜伝染病現地対策本部管内連絡会議	群馬県高崎合同庁舎	1名	2024年5月27日		
令和６年度　群馬県食肉衛生検査所業績発表会	群馬県食肉衛生検査所（群馬県佐波郡玉村町）	2名	2024年6月3日		
令和６年度　短期研修（食肉衛生検査研修）	国立保健医療科学院（埼玉県和光市）	1名	2024年6月10日	～	2024年7月10日
令和６年度　食品衛生検査施設信頼性確保部門責任者等研修会	三田共用会議所（東京都港区）	1名	2024年6月13日		
令和６年度　全国食肉衛生検査所長会議及び第６０回全国食肉衛生検査所協議会全国大会	ベイサイドホテル・アジュール竹芝（東京都港区）	2名	2024年7月10日	～	2024年7月11日
鶏肉の食中毒対策に係る情報交換会（第１回）	オンライン	2名	2024年7月29日		
令和６年度　全国食肉衛生検査所協議会微生物部会　総会・研修会	静岡県男女共同参画センターあざれあ（静岡県静岡市）	1名	2024年9月18日		
令和６年度　地域養豚生産衛生向上対策支援事業　第１回推進会議	一般社団法人群馬県農協ビル（群馬県前橋市）	2名	2024年9月18日		
令和６年度　食品の輸出証明書発給等の体制強化支援事業オンライン説明会	オンライン	3名	2024年9月24日		
令和６年度　全国食肉衛生検査所理化学部会総会・研修会	横浜市健康福祉総合センター（神奈川県横浜市）	1名	2024年10月4日		
有機溶剤作業主任者技能講習	高崎市産業創造館	1名	2024年10月17日	～	2024年10月18日
令和６年度　関東甲信越ブロック食肉衛生検査所協議会業績発表会	川口市市民ホール　フレンディア（埼玉県川口市）	1名	2024年10月25日		
令和６年度　全国食肉衛生検査所協議会病理部会　総会・研修会	麻布大学（神奈川県相模原市）	2名	2024年10月31日	～	2024年11月1日
鳥インフルエンザ防疫対策会議	群馬県庁（群馬県前橋市）	2名	2024年11月1日		
令和６年度　関東甲信越ブロック食肉衛生検査所協議会臨時所長等会議	オンライン	1名	2024年11月13日		
特定化学物質・四アルキル鉛等作業主任者技能講習	高崎商工会議所	1名	2024年11月14日	～	2024年11月15日
令和６年度　包装責任者養成研修会	高崎市総合保健センター	1名	2024年11月21日		
令和６年度　地域養豚生産衛生向上対策支援事業　第２回推進会議	一般社団法人群馬県農協ビル（群馬県前橋市）	1名	2024年12月11日		
令和６年度　自治体向けISO17025研修会	オンライン	1名	2024年12月20日		
令和６年度　食肉及び食鳥肉衛生技術研修並びに研究発表会	東京証券会館（東京都中央区）	3名	2025年1月23日	～	2025年1月24日
令和６年度　関東甲信越ブロック食肉衛生検査所協議会第２回臨時所長等会議	オンライン	1名	2025年2月7日		